

独立行政法人大学評価・学位授与機構運営委員会（第27回）議事要旨

1 日 時 平成23年3月18日（金） 持ち回り開催

2 出席者（回答者） 阿知波、岡澤、荻上、上條、川村、北原、高坂、島田、城山、瀧田、中原、西村、二宮、前田、丸山の各委員から回答が得られ、独立行政法人大学評価・学位授与機構運営委員会規則第5条第1項により議決は有効となった。

3 運営委員会（第26回）議事要旨について

平成23年2月16日に開催された運営委員会（第26回）議事要旨（案）が確認され、確定版として了承された。

4 議 事

(1) 平成23年度以降の組織体制について

平成22年12月7日に閣議決定された「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」等を踏まえた機構の組織体制の見直しについて審議が行われ、原案どおり承認された。

(2) 特任教員等の選考について

研究開発部における業務の充実を図ることについて審議が行われ、原案どおり承認された。

(3) 各種委員会委員等の選考について

各委員会等における委員の選考について審議が行われ、原案どおり承認された。

主な意見は以下のとおり。

- 今後、各認証評価委員会専門員については、高等教育機関での新しい課題、例えば生涯学習やキャリア開発教育、新しい専門分野等に関する専門家を起用していく必要があると思われる。

(4) 職員給与規則等の一部改正について

職員給与規則等における一部改正について審議が行われ、原案どおり承認された。

(5) 平成23年度年度計画について

平成23年度の年度計画（案）について審議が行われ、原案どおり承認された。

主な意見は以下のとおり。

- 年度計画及び達成評価については、数値化ができるものと定性的評価が必要なものの見直しを行ない、評価していくことが望まれる。また、調査研究については、特に「学習の多様化」の仕組みとその学習の成果の評価に関する課題を重点的に実施して欲しい。

- 直接年度計画に関係しないかもしれないが、今回の地震によって各大学の講義期間、回数などに特殊な事例が生じる可能性があるが、その際の評価はどのように対処するのか。また、評価スケジュールに変更がある場合、年度計画に影響を及ぼす可能性があるのではないか。

(6) 平成 23 年度機構内予算配分（案）について

平成 23 年度の収入支出予算配分額（案）について審議が行われ、原案どおり承認された。

(7) 評価事業について

大学機関別認証評価の結果について報告が行われた。主な意見は以下のとおり。

- 短期大学の教育研究等の総合的状況に関する評価が最終を迎えたことが、今後の短期大学機関別認証評価の進展に少なからずマイナス要因になることを憂える。

- 東日本大震災で被災した大学機関等に対する認証評価について、今後検討する必要があるのではないか。